



岡山県北をもっとおもしろく!

いなかえーる新聞

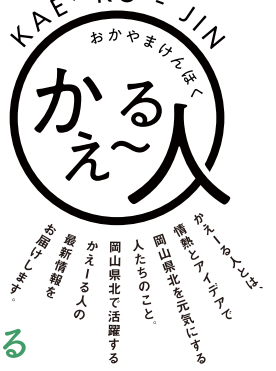
vol. 14

いなかえーる

岡山県北ではたらく&くらす

岡山県北にUターンやIターンが増えるように。地方で働くことが当たり前の選択肢になるように。岡山県北地域の「ひと」「くらし」「しごと」情報をお届けしています。

〈インタビュー〉レプタイル株式会社 代表取締役 丸尾 宜史



01 インタビュー 管理栄養士の国家試験に向け、美作大学で学ぶ

丸尾 テレ番組にも出演されて「黄ニラ香る贅沢おかやまばら寿司」の調理をされましたね。また、全国区の大会でグランプリを受賞されたり、大学生ながらに大活躍されています。まずは美作大学でどんな勉強をされているのか教えてください。

牧原 美作大学の生活科学部食物学科に在籍しています。調理学などのいわゆる「料理」はもちろん、食品に含まれる栄養素についての「栄養学」から始まり、「解剖生理学」なども学びます。来年度、管理栄養士の国家試験があるので、専門性の高い知識と実践的な能力を身につけるため日々勉強しているところです。

02 インタビュー 全国区のコンテストでグランプリを受賞

丸尾 2022年11月(当時2年生)に、株式会社タニタが主催する「第5回ご当地タニタごはんコンテスト」で、全国グランプリを受賞されていますね!

牧原 僕を含む3名(美作大学食物学科・住吉友香助手、同当時2年生・村上柚花さん)のチームで出場しました。全国で84チームが参加し、「タニタが考える健康的な食事」の基準に合わせて、郷土料理を現代風にアレンジすることがテーマです。岡山の郷土料理と言えば「ばら寿司」だと思いきや、黄ニラなど岡山の特産品をふんだんに使いました。ただ、ばら寿司は酢飯に塩が入っていたり具材も塩漬けのものが使われていたり、減塩に苦戦しましたが、地元の伝統を活かしながら現代風にアレンジした点を高く評価いただきました。

丸尾 アイデアを出すのは、大変ではないですか?

牧原 アイデアを考える時間はとても楽しいですね。「こうしてみようかな?」と考え出したらずっと考えてしまって、授業中も考えてしまうくらいです(笑)。

03 インタビュー 津山に美作大学があるから、料理を中心に地域と繋がる

丸尾 美作大学調理師会としては、現在どのような活動をされているのでしょうか?

牧原 小学生に料理教室をしたり、オープンキャンパスで配るお弁当作りを担当したり、地域住民に月に一回地元食材を使用したオリジナル料理を提供する「月一ランチ」を開催したりしました。大学の学生食堂で150食の津山和牛のローストビーフ丼を提供したこともあります。

丸尾 生まれてからずっと過ごしている地元・津山に対する思いを教えてください。

牧原 みんなで「お肉の町」を推していて、元気がある楽しい町だと思っています。津山の良さを活かすために、地元の食材を使うことで地域に貢献したい。僕にとっては、津山に美作大学があるというのが非常に大きいです。美作大学は、県外から入学してくる人が約7割を占めているんです。大学にいてだけで県外の色々な価値観を持った人と出会えます。なので、津山のよさを認識することができる。また僕は、高校生の時も毎日コック服を着ていたぐらい料理が好きなので、先進的な設備の調理室がある美作大学が津山にあって本当に良かったと思っています。

丸尾 これから、どんなことにチャレンジしていきたいですか?

牧原 伝統を活かした料理を作ったり人に楽しんでもらえる場を作ったり、地域と連携して新しい何かを作りたいと思っています。

全国区で2度のグランプリ。料理で津山地域に貢献したい。

美作大学4年生 牧原 直太郎

2002年、津山市生まれ。岡山県立津山高専校食物調理科卒業後、美作大学生活科学部食物学科に入学。好きなことは、料理と野球と相撲。

インタビュー全文はこちら

01 インタビュー 全国への活躍を津山から。アイデアソンで2度の受賞

丸尾 数々のプログラミングコンテストで受賞されるなど活躍されており、また弊社レプタイルが運営する「TTT子どもパソコンプログラミング教室」でもコーチを務めてくださっています。まずは、現在、津山高専でどんな勉強をされているのか教えてください。

小津野 総合理工学科の情報システム系を専攻しています。現在は、5年生なので主に卒業研究に取り組んでおり、学校に新しく導入された3Dスキャナの研究をしています。昨年度は、真庭市と津山市と協同して、文化財の保護のために3Dスキャンを活用してデータ化する取り組みも行いました。

丸尾 2024年3月、「第31回中国地区コンピューターフェスティバル(通称、コンフェス)」にて、メディアコンテンツ部門で企業賞を受賞されていますね。さらに2023年9月には、津山市IoTラボ委員会が主催する「最先端デジタル技術の活用発表会」で最優秀賞を受賞されています。

小津野 参加者がアイデアを出し合うアイデアソンで、「小型無人機ドローンと人工知能(AI)を組み合わせた林業支援」がテーマでした。ドローンで写真を撮り、AIで画像の解析をする。どこにどんな木が生えているのかを把握し、木の分布図を作る。木の樹齢を計測し、伐採時機を判断する。そのような、人手不足を解消するためのアイデアプランを発表しました。

丸尾 2022年7月には、津山市IoTラボ設置記念イベント「5Gアイデアソン」で最優秀アイデア賞を受賞されています。

小津野 「5G」がテーマのアイデアソンのイベントでした。「5G」は、一度に多くの人が集中して使用しても通信速度が落ちず、多くのデータを一気に送受信できるメリットがあります。そこで、2018年に岡山県で発生した西日本豪雨を思い出し、災害時にリアルタイムで道路の通行状況を地図上に反映するシステムがあればいいのではと考えました。日常的にも、工事中で道が通行止めになっている場合に役立つアイデアが評価されました。

02 インタビュー TTT子どもパソコンプログラミング教室のコーチとして

丸尾 現在、学校生活で力を入れていることはありますか?

小津野 システム研究部、通称「シス研」に所属しています。パソコンを使ってなんでも挑戦できる部活です。ロボット以外で、音楽を作っている人がいたり、3DのCG、VR、スマホのプログラミングなどを作ったりしている人がいます。また「TTT子どもパソコンプログラミング教室」では、アルバイトのコーチとして、主に小学生にプログラミングを教えています。小学生はプログラミングに興味がある子はどんどん進んで挑戦しますが、一方で分からなくなってしまう子もいます。そういう子たちが、どうすれば面白く思えるか。解決したいと意欲を燃やしてくれるか、そんなことを考えながら働いています。

03 インタビュー 人とコミュニケーションをとり、新しいものを生み出したい

丸尾 プログラミングは、子どもの頃から興味を持たれていたんですか?

小津野 小学生の時に、テレビで「ロボットコンテスト(通称、ロボコン)」を見て、ロボットに対する憧れを抱いたんです。津山高専に入学したのは、中学1年の頃に「高専という学校があるんだけど、どう?」と親に勧められて、「ロボコンに出場している学校だし、楽しそうだな!」と思い受験し、今に至ります。これからチャレンジしていきたいことを教えてください。

丸尾 Webやスマホのネイティブアプリなどに関する専門性の高い技術者になりたいと思っています。また、人とコミュニケーションを取り新しいものを生み出すことや、人に教えることにも興味があります。最近、VRにも興味があるのですが面白く感じることができたらなとも考えています。

生み出したい新しいものを、コミュニケーションで、技術とコミュニケーションで、新しいものを生み出したい。

津山工業高等専門学校 5年生 小津野 智葉

津山工業高等専門学校5年生/小津野 智葉
2004年、岡山市生まれ。津山工業高等専門学校総合理工学科情報システム系を専攻。部活は「シス研」。TTT子どもパソコンプログラミング教室にてコーチを務める。

津山高専の副校長でもあり研究室講師の寺元先生と。

インタビュー全文はこちら

岡山県北の「ひと」「くらし」「しごと」を応援しています

参加申込みはこちら

OTA最終審査会 一般観覧受付中!

プログラミング部門のファイナリスト10名が、プレゼンテーション形式でオリジナル作品の発表を行います。またイラスト部門の作品展示も予定しております。皆さまぜひご来場ください。

日時:2024年11月23日(土)13:30-16:00
場所:おかやま未来ホール(イオンモール岡山5F)

特別講演 講演テーマ:「いろいろなプログラミングコンテスト」
講演者:津山工業高等専門学校 総合理工学科 情報システム系 教授(副校長) 寺元 貴幸

主催・運営 Reptile Inc. 院庄林業株式会社 OKAYAMA TOYOTA PLATPORT MAEDA Group 前田産業運送(株) 前田林業(株) 前田興業(株) NAGAO 学研教室 木村 木工 KIMURA MOKKOU dashing group

岡山県北の「ひと」「くらし」「しごと」を応援しています いーなかえーる新聞を応援しませんか? 協賛広告 随時募集中です。

学研教室 岡山の子どもの未来を創る 子どもたちへ成長のお手伝い

指導員募集中 Numa Driving School

社会福祉法人 翠明会 職員募集

新車も旧車も中古車も! 取付・点検・お取り寄せ

株式会社学研エデュケーション 先生募集

Volkswagen 津山

津山まちなかカレッジ7周年! まちかえーる学びのフェスティバル